

書道科教育と作品制作に関する研究 (近代の書—三輪田米山の書美を中心に—)

最終更新日：2015年9月3日

美術教育講座
准教授
服部 一啓

キーワード

・書道、書写書道教育、手書き文字文化

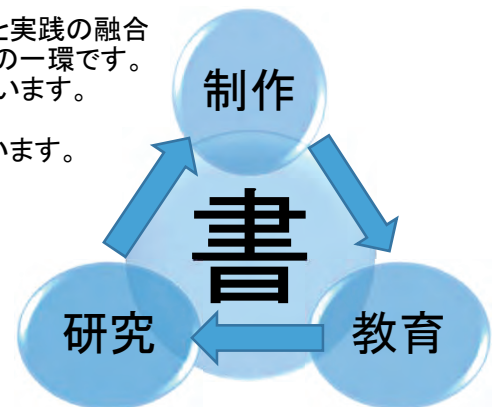
研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

私の研究テーマは近代の書、とりわけ「三輪田米山(四国・松山)」「中林梧竹(九州・小城)」を中心とした、その書美の在り方を研究することと、古典研究と創作表現による作品制作です。

近代の書については、人物と書のかかわり、書と時代、地域と書との関連について研究を進めています。書道の研究分野のみならず、書道教育の研究分野においては、教材論の基盤となる研究です。

高等学校芸術科書道教諭として経験したことを生かし、書道教育の理論と実践の融合を目指して研究を進めています。書道パフォーマンスに係る指導実績はその一環です。書写教育の分野では、小学校・中学校の教科書・指導書の執筆を行っています。

制作面では、「個展」による作品発表を行い、自らの主張と表現を問うています。主として「少字数書」と呼ばれる分野に取り組み、古典研究と創作表現に独自の制作理論と制作力を展開しています。



成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

私の研究成果は、小・中学校で国語科書写、高等学校で芸術科書道の実践指導、および研究会等で活用していただくことができます。例えば指導者研修などは、高等学校芸術科書道免許状に対応する科目、「書道(書写を含む)」「書道史」「書論・鑑賞」「書道科教育法」相互の関連を意識しながら教材研究・開発の支援、指導や助言が可能です。



そして、生徒を対象とした実技講習や講演なども実施指導いたします。

また、「書」や「手書き文字」に関わる企画展やシンポジウムにも研究成果を役立てることが可能です。

個展・常設展などでは、芸術文化によって町や施設を活性化し、市民に本物の書を鑑賞できる機会を設けたいという要請に応えることが可能です。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・平成25～27年 合同錬成会及び指導者講習会
- ・平成26年 文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)
- ・平成27年 書道特別展「とてつもない書—米山の大字」
- ・平成26年 「三輪田米山特別展」
- ・平成24年 「今、なぜ米山なのか」(三輪田米山展シンポジウム)
- ・平成25年 九州地区大学図書館協議会
- ・平成23年～27年 佐々木盛行氏・日野俊顕氏中林梧竹研究資料検討委員会
- ・平成26年 福岡県小学校児童書写審査会
- ・個展開催 3回(新潟・愛媛)
- ・常設展示ギャラリー 社会福祉法人 愛美会「山田井の郷」(愛媛)
- ・映画製作事業「書道ガールズ!!わたしたちの甲子園」
- ・映画製作事業「青い青い空」
- ・四国中央市ふるさとアドバイザー
- 講師(岡山県高等学校文化連盟、岡山県高等学校教育研究会)
- 講師(文化庁文化部芸術文化課)
- 講演講師(徳島県立文学書道館)
- 実行委員
- 講演講師(愛知県芸術文化センター)
- 講演講師
- 委員会 検討委員(小城市)
- 教育支援(福岡県小学校国語教育研究会)
- 企画協力
- スーパーバイザー